

第12回 奈良中心市街地公共交通活性化協議会 議事録

1. 開催日時 平成25年9月2日（月）13:00～15:00
 2. 開催場所 奈良市役所 中央棟6F 第2研修室
 3. 出席者
 - 会長 奈良市長
 - 委員 近畿運輸局奈良運輸支局長（代理：主席運輸企画専門官）
 - 委員 近畿地方整備局奈良国道事務所長（代理：副所長）
 - 委員 奈良市自治連合会代表
 - 委員 社団法人奈良市商店街振興会長
 - 委員 社団法人奈良市観光協会長（代理：専務理事）
 - 委員 西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部総務企画課長（代理：主査）
 - 委員 近畿日本鉄道株式会社鉄道事業部企画統括部営業企画部長（代理：課長）
 - 委員 社団法人奈良県バス協会専務理事
 - 委員 奈良交通株式会社乗合事業部長
 - 委員 奈良県タクシー協会奈良市部会代表（代理：常務取締役）
 - 委員 奈良県交通運輸産業労働組合協議会事務局長（代理：議長）
 - 委員 奈良県奈良警察署長（代理：交通第一課長）
 - 委員 奈良県警察本部交通部交通規制課長（代理：課長補佐）
 - 委員 奈良県奈良土木事務所長
 - 委員 奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局次長
 - 委員 奈良市都市整備部長（代理：室長）
- 事務局 奈良県県土マネジメント部道路環境課
奈良市都市整備部交通政策課

4. 議事

◆事務局からの説明

〈平成 24 年度決算と監査報告について〉

〈春の取組結果についてと、秋以降の取組内容（案）について〉

・平成 25 年春の「ぐるっとバスの運行」「奈良観光周遊バスの運行」「木簡型一日フリー乗車券の販売」「パーク&バスライドの実施」の取組結果及び今後の取組予定について

〈奈良中心市街地公共交通総合連携計画について〉

・奈良中心市街地公共交通総合連携計画の目標達成状況と、見直しの基本方針について

◆審議内容（主な意見）

（1）平成 24 年度決算と監査報告について

○平成 24 年度決算について、事務局により提案した内容で承認を頂きました。

（2）春の取組結果についてと、秋以降の取組内容（案）について

・取組の目的は、交通量を低減することも重要だが、それに伴い通過型でなく滞在型の観光に繋げ、経済効果を大きくすることも重要である。ぐるっとバスのバス券に、商品券や土産物の商品券等をつけて一緒に販売することが可能かどうか検討して欲しい。

・「ぐるっとバス」を 100 円で運行したが、市内を 200 円でバスが走行していることに対し、混乱などが懸念されたが、バス停を区別したこと等によりトラブルは発生していない。

・こういった取組により、交通渋滞の低減が図られているかどうかだが、ここ数年顕著な渋滞は確認していないが、県庁東から般若寺交差点間には慢性的な渋滞は存在している。

○以上、秋以降の取組方針（案）について、基本的に事務局により提案した内容で行っていくこととなりました。

（3）奈良中心市街地公共交通総合連携計画について

・パーク&ライドに関しては、現在は駐車場に停車してバスで行くだけになっている。パーク&ライド利用者に対しメリットがあれば利用が伸びるのではないかと考える。

・観光バスに関しては、奈良の場合は駅に駐車スペースが無いために、京都駅や新大阪駅まで観光バスで迎えに行くといった状況である。

・平成 22 年 5 月のパーク&ライド利用台数は 750 台とあるが、現在は施策の規模感が小さくなっているように感じる。施策全体の規模感や、天候、曜日などが分かるような形で報

告して欲しい。

- ・パーク&ライドは、来訪者がどれだけ知っているかが重要と考えるので、経年的に認知状況が分かるのであれば、データを示して欲しい。

- ・①鉄道駅等での乗り継ぎ利便性の向上と②バス停や鉄道駅等での案内情報の充実を分けることによって、分かりにくくなっているため、施策としては1本にして「鉄道駅等での乗り継ぎ利便性の向上」とする。

- ・目標の設定にあたっては、施策を実施することが目標とならないような目標値を設定する必要がある。

○奈良中心市街地公共交通総合連携計画について、次協議会において具体的な内容について議論を進めて行くことになりました。